

【事業報告】 公共施設マネジメントシンポジウム

鴻巣市では、人口構造の変化や地域課題解決に向けた持続可能な公共施設（＝資産）のあり方、市民協働による付加価値創出と多世代交流の促進等について、民間・大学・研究機関そして行政が連携した研究プロジェクトである「BaSS プロジェクト」に参加し共同研究を行ってきました。

今回、共同研究におけるモデル地域として取り組んだ「中央公民館周辺エリア再編研究」に関する研究報告と、今後地域を持続可能にする公共資産のあり方について、市民の皆さんと考える“シンポジウム”を開催しました。

- ◆日程 令和2年1月26日（日）13時30分～16時
- ◆会場 こうのすシネマ 多目的ホールA（収容：126人）
- ◆内容 第1部 講演「鴻巣市公共施設マネジメントの取組と今後の展望」
 - （1）鴻巣市公共施設マネジメントの取組と今後の展望
 - （2）将来を見据えた公共施設のあり方
 - （3）鴻巣市中央公民館周辺エリア公共施設再編研究ワークショップ報告第2部 パネルディスカッション「多世代共創による公共資産の使われ方」
 - 下記の3つのテーマについて堤准教授及びパネリストにおいて議論しました
 - （1）多世代の交流
 - （2）来たくなる施設とは
 - （3）市民が関与したいと思う施設とは
- ◆参加者数 70人
- ◆当日風景



【第1部：講演】



【第2部：パネルディスカッション】

以上